

福祉サービスの知識等

問題 46 ～ 問題 60

問題 46 面接場面におけるコミュニケーション技術について適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 コミュニケーション手段としては、言語的なものと非言語的なものがある。
- 2 面接の焦点を絞ることは、面接を効果的に実施する上で重要である。
- 3 初回面接では、チェックリストに従って、次々と「はい」又は「いいえ」の答えを求める。
- 4 イラストや写真などの活用は、クライアントを混乱させるので、避けるべきである。
- 5 面接を行う部屋の広さ、室温、静けさなどの外的条件は、円滑なコミュニケーションを図る上で重要である。

問題 47 ソーシャルワークに関する次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 意図的な感情表出とは、相談援助者の価値観に基づいてクライアントの態度を批判したり決めつけないことである。
- 2 プランニングとは、クライアントが生まれてから現在までの生活歴を作成することである。
- 3 モニタリングとは、援助計画の進捗を定期的、継続的に観察して評価することである。
- 4 セルフヘルプグループとは、当事者同士が情報交換や支え合いなどを行うグループのことである。
- 5 ラポールとは、相談援助者とクライアントとの間で築かれる信頼関係のことである。

問題 48 相談援助者の基本姿勢として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 クライアントの多様性を尊重することが重要である。
- 2 クライアントを一人ひとり個別の存在として理解することが重要である。
- 3 自らの感情や態度を意識的にコントロールすることが重要である。
- 4 職業倫理の違反を防ぐ上で、スーパービジョンを受けることは有効ではない。
- 5 クライアントの個人情報、クライアント本人の不利益にならないければ、私的に利用してもよい。

問題 49 ソーシャルワークにおける地域援助として、より適切なものはどれか。

2つ選べ。

- 1 自治体による生活困窮世帯への家計改善に係る個別相談
- 2 社会福祉協議会による地域住民の支え合い活動の組織化
- 3 特別養護老人ホームの生活相談員による入所者を対象とした絵手紙教室
- 4 医療機関の医療ソーシャルワーカーによる入院患者に対する相談支援
- 5 地域のNPOと住民が協力して行う認知症に関する地域での啓発活動

問題 50 介護保険における訪問介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 認知症のある利用者が、リハビリパンツやパットの交換をできるだけ一人でできるように、見守り・声かけを行うこと。
- 2 爪の周囲の皮膚に化膿や炎症があり、専門的な管理が必要な利用者の爪を切ること。
- 3 調剤薬局で利用者の処方薬を受け取ること。
- 4 ボタン付け等、利用者の被服の補修を行うこと。
- 5 犬の散歩等、利用者が飼っているペットの世話をすること。

問題 51 介護保険における通所介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 利用者が自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指すものである。
- 2 居宅サービス計画に通所介護の利用が位置付けられていれば、通所介護計画は作成しなくてもよい。
- 3 指定通所介護の提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行うものとする。
- 4 通常の事業の実施地域以外の地域に居住する利用者から、利用料以外の料金として送迎に要する費用の支払を受けることはできない。
- 5 生活相談員の確保すべき勤務延時間数には、利用者の地域生活を支える取組のために必要な時間を含めることはできない。

問題 52 介護保険における訪問入浴介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 管理者は、看護師でなければならない。
- 2 指定訪問入浴介護事業者は、事業所ごとに看護職員を常勤換算で2.5人以上配置しなければならない。
- 3 指定訪問入浴介護事業者は、事業所ごとに機能訓練指導員を配置しなければならない。
- 4 利用者の肌に直接触れるタオル等は、利用者一人ごとに取り替えるか個人専用のものを使う等、安全清潔なものを使用する。
- 5 緊急時等の対応のため、協力医療機関は、事業の通常の実施地域内にあることが望ましい。

問題 53 介護保険における短期入所生活介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 目的には、利用者の家族の身体的負担及び精神的負担の軽減は含まれない。
- 2 事業所ごとに、常勤の管理者を置かなければならない。
- 3 食事の提供と機能訓練に支障のない広さを確保できるのであれば、食堂と機能訓練室は同一の場所とすることができる。
- 4 夕食時間は、午後5時より早い時間が望ましい。
- 5 利用者に病状の急変が生じた場合は、速やかに主治の医師等への連絡を行う等の必要な措置を講じなければならない。

問題 54 介護保険における福祉用具について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 利用者の日常生活上の便宜を図り、その機能訓練に資するとともに、利用者を介護する者の負担の軽減を図るものでなければならない。
- 2 指定特定福祉用具販売事業者は、その事業を行う事業所ごとに福祉用具専門相談員を配置しなければならない。
- 3 貸与又は販売のいずれかを利用者が選択することができる福祉用具の種目がある。
- 4 自動排泄処理装置の交換可能部品は、福祉用具貸与の対象となる。
- 5 移動用リフトのつり具の部分は、福祉用具貸与の対象となる。

問題 55 介護保険における小規模多機能型居宅介護について正しいものはどれか。
3つ選べ。

- 1 機能訓練を行うことは、含まれる。
- 2 登録者の居宅サービス計画は、居宅介護支援事業所の介護支援専門員が作成する。
- 3 サテライト型ではない指定小規模多機能型居宅介護事業所には、従業者として、看護師又は准看護師を置かなければならない。
- 4 管理者の要件には、認知症高齢者の介護に従事した経験は含まれない。
- 5 指定小規模多機能型居宅介護事業所の登録定員には、上限が定められている。

問題 56 介護保険における認知症対応型共同生活介護について正しいものはどれか。

3つ選べ。

- 1 事業者は、入居申込者の入居に際しては、主治の医師の診断書等により当該申込者が認知症である者であることの確認をしなければならない。
- 2 利用者の処遇上必要と認められる場合であれば、1つの居室に対して定員を2人にするができる。
- 3 事業者は、利用者の負担により、当該事業所の介護従業者以外の者による介護を受けさせることができる。
- 4 事業所は、住宅地又は住宅地と同程度に利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保される地域にあるようにしなければならない。
- 5 事業者は、提供するサービスの質について、定期的に外部評価を受けていれば、自己評価を行う必要はない。

問題 57 指定介護老人福祉施設について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 可能な限り、居宅での生活への復帰を念頭に置いて、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指すしなければならない。
- 2 生活相談員を配置しなければならない。
- 3 計画担当介護支援専門員は、定期的に入所者との面接を行う必要はない。
- 4 計画担当介護支援専門員は、入所者の希望及び入所者についてのアセスメントの結果に基づき、その家族の希望を勘案して、施設サービス計画の原案を作成しなければならない。
- 5 定期的な外出の機会を確保していれば、教養娯楽設備等は備えなくてもよい。

問題 58 生活保護制度について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。
- 2 医療扶助は、原則として、金銭給付である。
- 3 生活保護の申請は、世帯主以外を行うことができない。
- 4 介護扶助には、要介護者に対する福祉用具に関する給付は含まれない。
- 5 保護を必要とする状態にある者が急迫した状況にあるときは、保護の申請がなくても、必要な保護を行うことができる。

問題 59 後期高齢者医療制度について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 被保険者は、60歳以上の者である。
- 2 運営主体は、都道府県ごとにすべての市町村が加入する後期高齢者医療広域連合である。
- 3 後期高齢者医療給付には、療養の給付が含まれる。
- 4 保険料は、全国一律である。
- 5 患者の一部負担の割合は、所得にかかわらず1割である。

問題 60 生活困窮者自立支援制度について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 関係機関及び民間団体との緊密な連携その他必要な支援体制の整備に配慮して行われなければならない。
- 2 生活困窮者とは、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者をいう。
- 3 高齢者は、対象ではない。
- 4 生活困窮者住居確保給付金の目的には、就職を容易にするため住居を確保することが含まれる。
- 5 生活困窮者自立相談支援事業は、含まれない。